

## 【出題方針】

出題の難易度に関しては例年通りです。問題構成に一部変更があります。問題構成や解答上の注意の説明をよく読み、取り組んでください。

## 【問題構成とアドバイス】

- 1 小問集合（計算問題）
- 2 小問集合（例年通りの傾向）
- 3 } 大問
- 4 }

- ☞ 全部で15問程度あります。
- ☞ 出題分野は幅広くなっていますので、解ける問題を正確に解くことが合格へとつながります。
- ☞ 線分図や表、グラフを用いると解きやすい問題があります。
- ☞ 受験勉強の対策としては、過去問題をしっかりと解いてください。ひとひねりされている問題もありますが、受験の定番問題を取り扱っています。大問も、(1) は問題をしっかりと読めばできる問題です。
- ☞ 第1問には新傾向の問題があります。下の出題例（第1問）を参考にしてください。
- ☞ 第4問は会話文や図・表から情報を正確に読み取り、処理する能力を問う問題です。下の出題例（第4問）を参考にしてください。

### ★出題例（第1問）

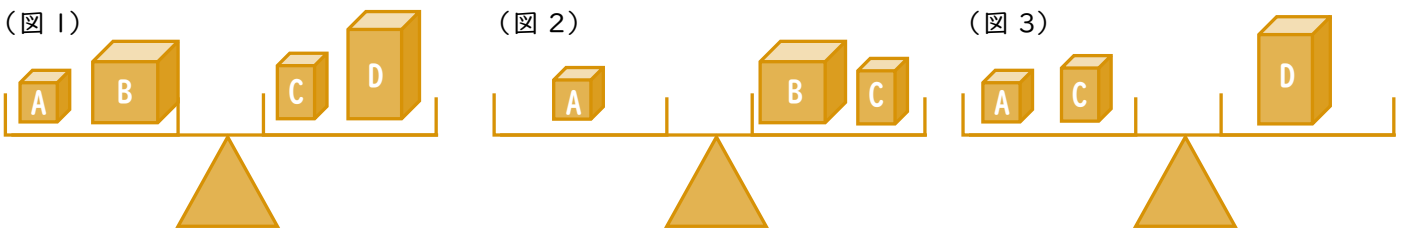
次の□に当てはまる数を求めなさい。

$$2 + (3 - \square \times 2) = 3$$

答え：1

### ★出題例（第4問）

重さが100g、200g、300g、400gの箱A、B、C、Dが1つずつ計4個あり、図1～図3のように天秤てんびんに乗せたところ釣り合いました。ただし、どの箱がどの重さなのかわかりません。次の明くんと正くんの会話を読んで、次の(あ)～(か)に当てはまる記号、数を答えなさい。



正くん：図1～図3を見比べると1個ずつの重さがわかるけど、明くんはわかるかい？

明くん：図1と図2を合わせて考えると、箱(あ)は箱(い)の2倍の重さになるね！

正くん：そうだね！同じように図2と図3を合わせて考えると4個の重さがわかってくるかな？

明くん：そうすると図1～図3が釣り合っているから箱Aが(う)g、箱Bが(え)g、箱Cが(お)g、箱Dが(か)gであることがわかるね！

答え：(あ)D (い)B (う)300 (え)200 (お)100 (か)400

## 【解答上の注意】

1. 解答用紙には、「本」「人」「cm」などの単位が初めから書いてあります。
2. 答えは小数でも分数でもどちらでもかまいません。ただし、分数は約分した形で答えてください。
3. 答えは適切な数字になるようになっていきます。  
「1クラスは何人ですか？」という質問に対して「28.5人」のような答えにはなりません。  
「人の走る速さは毎分何mですか？」という質問に対して「毎分3000m」のような答えにはなりません。
4. 円周率は3.14で計算してください。問題の表紙にも記載されています。